

登録コード	E8361400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究					担当教員	宮崎 樹夫
英文授業名	Graduation Study					副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	ゼミナール形式で、卒業研究に関する発表、質疑応答、討議を行う。また、卒業研究への取り組みを通して、文献の適切な解釈・教材分析等の理論的考察の方法、及び調査等の実証的考察の方法を習得する。						
(5)授業計画	数学教育に係る大学での学びや、教育実習などでの学習指導経験に基づいて、卒業研究のテーマを選択し、研究課題を設定する。 次に、研究課題の探究に必要な文献を収集する。そして、文献解釈や教材分析等の理論的考察、さらには必要に応じて調査等の実証的考察を通じて、設定した研究課題について探究を試みる。 最後に、研究の成果を卒業論文としてまとめる。 なお、上記のプロセスは、研究の進捗状況に応じて循環的に進むことが多い。また、研究室内での討議の他に、秋冬に他の研究室と合同で卒業研究中間発表会等を行い、より多角的な視野から研究を進める。 最終回到授業アンケート実施。						
(6)成績評価の方法	各回の発表（30％），質疑応答・討議（20％），及び卒業論文の内容（50％）によって評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	発表、質疑応答・討議、及び卒業論文の内容すべてについて授業で扱った内容と同レベルであれば「水準にある」，その上でいずれか一つについて発展的なレポートが提示できれば「やや上にある」，二つについて発展的なレポートが提示できれば「かなり上にある」，三つ以上について発展的なレポートが提示できれば「卓越している」と判断される。						
(8)事前事後学習の内容	事前に各自の研究課題についてレポートを作成し、事後に質疑・討議及び指導・助言をもとにレポートを振り返り次回のレポートを構想する。 各1回の講義あたり事前・事後の学習時間は少なくとも合計4時間は確保すること。事前と事後の学習時間の配分は個々の学生の判断に任せる。						
(9)履修上の注意	各自、研究テーマに関連した文献等を図書館などで自主的に検索・収集すること。 また、国際的な研究動向を踏まえるために、少なくとも1編は英語論文を読むことが望ましい。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	オフィスアワー・・・宮崎：随時／連絡先・・・mmiyaza@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	指定しない。						
【参考文献】	指定しない。						